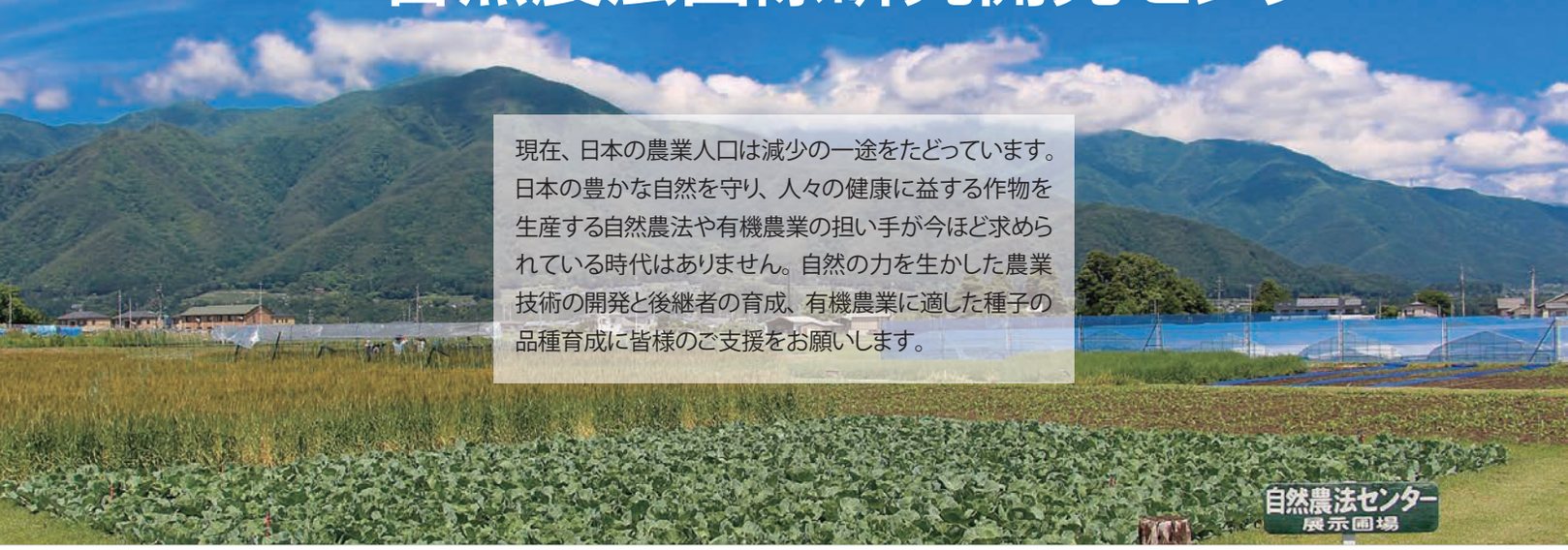
賛助会員
入会のご案内

公益財団法人 **自然農法国際研究開発センター**

現在、日本の農業人口は減少の一途をたどっています。日本の豊かな自然を守り、人々の健康に益する作物を生産する自然農法や有機農業の担い手が今ほど求められている時代はありません。自然の力を生かした農業技術の開発と後継者の育成、有機農業に適した種子の品種育成に皆様のご支援をお願いします。



特色その1 慣行農法からの転換を容易にする「育土」技術を研究

化学合成農薬や化学肥料を使用した慣行農法から、自然農法や有機農業に移行するためには、土の力を最大限に生かした栽培技術に転換する必要があります。当センターでは、水田と畑作について、短期間で慣行農法と遜色（そんしょく）のない作物を栽培する技術をめざして研究活動を行っています。

特色その2 未来の有機農業を担う人材を育成

当センターでは、毎年自然農法や有機農業を志す人々を研修生として受け入れています。研修生は、寮生活を送りながら、各種講義や圃場での実習を通して自然農法の技術を学びます。現在まで修了生約100名のうち、半数近くが当センターで学んだ技術を生かして、全国各地で就農しています。

特色その3 人間の健康と自然を守るタネを育てる

現在、世界的な大企業が、遺伝子組み換え品種を開発し、化学合成農薬や化学肥料を使用しなければ育たない作物を広めようとしています。当センターでは、一貫して自然農法や有機農業に適した品種の育成を行ってきました。在来の品種を組み合わせて有機農業に適した優良品種を育成するためには、長い年月と細かな世話が必要で経費もかかりますが、頒布（はんぷ）に際しては、利用者が求めやすい金額に設定させていただいています。今や、品種育成から生産、頒布まで行う唯一の団体として高い評価を受けています。

特色その4 有機農業分野でトップクラスの稲作技術

安定した水稲栽培を自然農法や有機農業で行うためには、稲の健全な生育と水田の雑草対策が欠かせません。当センターでは、長年の研究によって、2つの課題をクリアしています。今や、有機農業の分野でトップクラスの稲作技術として認められつつあり、各地で実践されています。

特色その5 全国に実証圃場を整備

自然農法技術の普及をはかるため、全国各地で実証圃場の整備を進めており、技術交流会等の各種イベントを開催しています。

特色その6 国内の有機栽培農家の約１割を掌握

当センターは、平成12年に国が行う有機食品の検査認証制度における有機農産物等の認証をする登録認証機関として認可され、現在50数団体の登録認証機関が活動している中、全国の有機認証農家（約3700戸）の約１割を認証しています。

クレジットカード等で会費の支払いができます

ご要望にお応えし、クレジットカード等でも賛助会費の支払いが可能となりました。郵便局へ行く手間が省けますので、是非ご利用ください。

オンライン決済ページ

https://www.infrc.or.jp/info/2020/11/12523/

賛助会費をご入金いただいた方全員に、会員宛冊子「賛助会員だより」、1年間何度でも使える「自然農法センターのタネ割引クーポン」をお届けします。また、個人会費3口、一般会費1口以上ご入金いただいた方には薄謝をお送りします。

会費の種類（1口）

1. 個人会費	3,000 円
2. 一般会費	10,000 円
3. 法人会費	30,000 円
4. 特別会費	100,000 円

皆様からいただいた賛助会費は、寄付として全額社会貢献のための公益目的事業に活用させていただいています。また、確定申告や損金算入等の手続きをすることにより、税制の優遇措置が受けられます。

公益財団法人 自然農法国際研究開発センター
総務部総務課

〒390-1401 長野県松本市波田 5632 番地 1
TEL. ：0263-91-1011
URL ：http://www.infrc.or.jp